

総合評価落札方式(簡易Ⅱ型)に関する事項

1 総合評価落札方式による理由

本工事は、民間の持つ技術力を積極的に活用し、価格と品質で総合的に優れた調達を促進するため、総合評価落札方式を適用する。

2 総合評価の技術資料等の提出

提出する技術資料及びその内容は、次のとおりとし、技術資料やその記載内容を証明する資料は、公告で定めた期日までに書面により持参して提出しなければならない。期日までに提出されない場合、提出された技術資料等に必要事項が記載されていない場合、又は求めた内容と異なるなど不適切な記載がされていた場合は、入札を無効とする場合がある。

なお、提出する技術資料等は、提出者の商号又は名称及び当該入札に係る建設工事等の名称を記載した封筒に封入して提出すること。

(1) 技術資料提出書(様式第1号)

必要事項を記載のうえ、提出すること。問合せ先を記入すること。

(2) 企業の施工能力(様式第4号)

ア 施工実績は、完成検査を受けている工事の中から代表的なものを1件記載する。

イ 施工実績は、公共発注機関(一般競争入札(事後審査型)公告共通事項1(4)ア〜ウに掲げる者)が発注した工事の元請施工実績に限る。

ウ 特定共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率20%以上のものに限る。

エ 同種・同規模工事とは、「企業の施工能力」の評価内容欄に示すとおりである。

オ 受注形態は単体、特定共同企業体の別を記入する。特定共同企業体の場合は出資比率も記入する。

カ 記載する工事は、原則CORINSに登録されている工事から選定すること。この場合、記入内容が確認できる登録内容確認書の写しを添付すること。登録内容確認書の写しだけでは同種・同規模工事の内容が確認できない場合又はCORINSに登録されていない場合は、契約図書等の写し及び工事内容を判断できる資料を添付すること。

キ 過去5年間の工事成績評定点の平均点は、世羅町にて集計をする。

ク 品質・環境マネジメントシステム(ISO9001、ISO14001)の認証を取得している場合は、入札日時点において有効な認証取得を証明できる資料を添付すること。

(3) 配置予定技術者の資格・工事経験(様式第5号)

ア 主任(監理)技術者は契約日時点で配置できる技術者であること。その他については、一般競争入札(事後審査型)公告共通事項「5配置予定技術者及び現場代理人の取扱い」に従うこと。技術資料提出時までに配置技術者を特定できない場合は、資格等の要件を満たす3人までの候補者を記入することを認める。この場合は、様式を複写して記入すること。この場合、審査については、各候補者のうち資格等の評価が最も低い者で評価する。専門資格を評価項目としている場合は、「専門資格」の欄に評価の対象となる専門資格を有している場合はその資格を記入し、保有が証明できる資料を添付すること。

イ 工事成績の最高点

- ・記入した経験工事の工事成績評定通知書の写しを添付すること。
- ・主任(監理)技術者または現場代理人の場合についてのみ経験工事として認め、これら以外の従事役職は評価の対象外とする(例 担当技術者、低入札技術者等)。
- ・業種は、公告 6-(1)アに記載の業種とする。
- ・原則コリンズに登録されている工事から選定して、コリンズ登録番号を記入すること。
- ・発注機関は、世羅町、広島県関係及び国土交通省中国地方整備局とする。
- ・特定共同企業体及び経常共同企業体の構成員としての施工実績とする場合は、出資比率20%以上であること。
- ・工事の全期間従事していること。
- ・経験工事がない場合、または工事成績評定点が付いた経験工事がない場合は、工事名の欄に「なし」と記入する。

ウ 当該工事が低入札価格調査を経て契約した工事で、コリンズへ技術者名が複数登録され、配置予定技術者が低入札技術者ではないことを示す場合は、「添付資料・摘要」の欄へ、「低入札技術者：〇〇〇〇」と記入することにより、コリンズの低入札技術者を特定できるものとする。但し、虚偽の記入があった場合は、後日指名除外措置を行うことがある。

エ 同種・同規模工事、同一業種工事の施工経験

- ・原則コリンズに登録されている工事から選定して、コリンズ登録番号を記入すること。
- ・「コリンズ登録」欄は、いずれかに○を付すこと。有の場合は登録番号を()内に記入して入内容が確認できる登録内容確認書の写しを添付すること。登録内容確認書の写しだけでは同種・同規模工事の内容が確認できない場合は又はCORINSに登録されていない場合は、契約図書等の写し等、内容を判断できる資料を添付すること。
- ・同種・同規模工事施工経験は、代表的なものを1件記載する。
- ・同種・同規模工事とは、「配置予定技術者の能力」の評価内容欄に示すとおりである。
- ・同種・同規模工事、同一業種工事は、企業の施工能力として記入した工事と同一である必要はない。

オ 過去3年間の継続教育(CPD)の取組

継続教育(CPD)の単位を取得している者は、学協会名と単位数を記入し、それが確認できる建設系CPD協議会加盟の団体が取得単位を証明する証明書の写しを添付すること。

(4) 地域貢献の実績（様式第6号）

ア 過去5年間の40歳未満の新規雇用実績

令和2年4月1日以降に新規雇用した満40歳未満（雇用日時点）で、公告日前日まで3カ月以上継続勤務している者の氏名を1名記入し、その内容が確認できる資料の写しを添付すること。

イ 世羅町が発注した過去5年間の「災害復旧工事」の受注実績の有無

令和2年4月1日から公告日の前日までの間に完了検査を受けた、災害復旧工事を5件まで記入し、その内容が確認できる設計図書等の写しを添付すること。

3 総合評価の方法

ア 価格以外のその他の要素に係る評価項目ごとの技術資料の内容に応じ、加算点を与える。

なお、標準点（基礎点）を100点とし、加算点の最高点数は20点（30点換算前）とする。

イ 総合評価は、標準点（基礎点）と加算点（各評価項目の得点合計を30点換算し、その値は小数第1位（小数第2位を四捨五入）とする。）を合計した点数（以下「技術評価点」という。）を当該入札参加者の入札価格で除して得た数値（以下「評価値」）をもって行う。

技術評価点 = 標準点（基礎点） + 加算点（価格以外の評価点の合計を30点換算）

評価値 = 技術評価点 / 入札価格（税抜、単位：千円、千円未満四捨五入） × 1,000

ウ 求められる評価値は小数第4位（第5位を四捨五入）とする。

4 落札者の決定方法

「総合評価の方法」によって得られた評価値の最も高い者を落札候補者とする。（一般競争入札（事後審査型）公告共通事項「8 落札者の決定方法」により落札者を決定する。）